

(2) 公共交通網のあり方

1) 公共交通再編の基本的な考え方

勝浦市の公共交通ネットワークは、基本理念である「生活しやすいまちづくりを支える公共交通網の構築」に向けて、次の5つに事項に重点を置き、効率的で利便性の高い公共交通網の構築を目指す。

- ①広域アクセス（鉄道、高速バス、路線バス）と市内交通（路線バス、デマンドタクシー）との組合せによる輸送効率の向上の実現
- ②観光ニーズへの対応
- ③亀田総合病院（鴨川市）等市外移動ニーズへの対応
- ④交通結節点の機能強化による公共交通機関同士の相互連携の実現
- ⑤観光資源や商業施設などまちづくりと一体的な公共交通の実現

2) 各公共交通機関の役割

勝浦市は東西に約 14.0 km、南北に約 12.5 kmと東西に長い市域となっており、目的地・外出パターンに合った直行性を追求した公共交通網では、路線長が長大となるため、利便性や効率性などの低下が懸念される。

そのため、各公共交通機関が提供するサービスの特徴を最大限に発揮し、適切な役割分担のもと緊密に連携しながら、効率的で利便性の高い公共交通網の構築を目指す。

デマンドタクシーについては、国土交通省による地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）による補助金を受けて運行を維持する。

■各公共交通機関の機能分担

分類		交通機関	位置付け・役割	移動量・距離※	
				都市間	市内
幹線	広域幹線公共交通	・鉄道（JR 外房線） ・高速バス（安房小湊・御宿～東京線）	・都市間を連絡し、広域的な移動を担う交通	◎	△
	幹線公共交通	路線バス	・勝浦駅と市内や御宿駅、大多喜車庫を結ぶ移動を担う交通	○	○
支線	地域内公共交通	デマンドタクシー	・主に地域内の移動と公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通	—	◎
補完公共交通		タクシー	・ドア・ツー・ドアの少量個別輸送を担う移動手段で、個別のニーズに機動的や柔軟に対応可能な交通	△	○
特定の利用者などの移動を担う交通		スクールバス、大多喜自動車学校送迎バス、東急ゴルフコース送迎バス、介護タクシー	・通学や教習所、ゴルフなど特定の利用者などの移動を担う交通	△	△

※移動量や距離の長さ…◎：多い（長い）、○：やや多い（やや長い）、△：少ない（短い）

■地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用したデマンドタクシーの位置付け

役割	主に地域内の移動と公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通で、また、市街地商店街等へのアクセス性の向上により、買い物支援の役割を担う重要な交通である。
維持・確保策	鉄道（JR 外房線）や路線バスとの連絡を確保しながら、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し、持続可能な運行を行う。
必要性	公共交通空白地域等の解消と利用者要望を反映した公共交通体系の維持・確保のため、市の財政負担だけでは運行の維持が難しく、引き続き地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）の活用により、生活交通手段を確保・維持する必要がある。

3）交通結節点のあり方

効率的で効果的な地域公共交通網の構築を目指す上で、交通結節点は、幹線、支線、補完公共交通の接続性を高める重要な役割を担うため、情報提供、乗継負担の軽減などを考慮する必要がある。交通結節点は、幹線同士、あるいは幹線・支線の乗継が可能な場所で、「勝浦市都市計画マスタープラン」の将来都市構造で「都市交流拠点」や「地域交流拠点」に位置付けられている「勝浦駅」と「上総興津駅」とする。



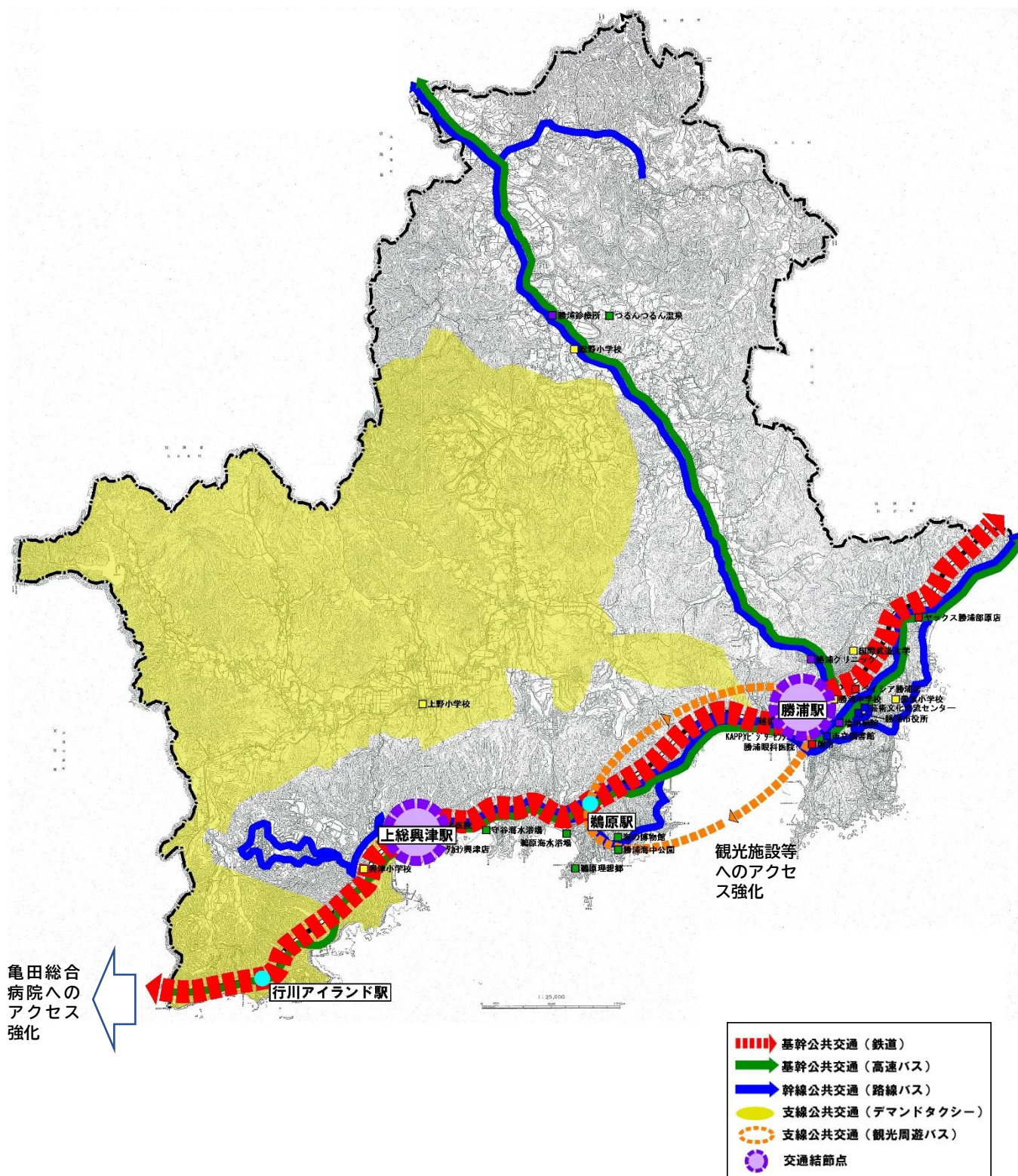
勝浦駅



上総興津駅

■公共交通骨格形成イメージ

- ①広域アクセス（鉄道、高速バス、路線バス）と市内交通（路線バス、デマンドタクシー）との組合せによる輸送効率の向上の実現
- ②観光ニーズへの対応
- ③亀田総合病院（鴨川市）等市外移動ニーズへの対応
- ④交通結節点の機能強化による公共交通機関同士の相互連携の実現
- ⑤観光資源や商業施設などまちづくりと一体的な公共交通の実現



（４）実施事業の概要

実施事業について、目標ごとに事業概要や実施主体、実施時期を整理する。

目標① 市内の移動支援の充実

【事業１】デマンドタクシーの運行サービスの見直し

①事業概要

デマンドタクシーについては、利用者数が増加傾向で行政負担額が増加傾向となっている中で、路線バスやタクシーとの役割分担を図りながら、運行地域においては、試乗会や利用方法に関する説明会を開催するなど、利用促進に向けた取組の実施を検討するとともに、利用者のニーズを的確に把握した上で、満足度の高い運行に向けたサービスの見直しを継続的に検討・実施する。

また、地域内公共交通として地域内の移動と交通不便地域の解消を担う役割であるため、「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（フィーダー補助）を活用し、財源の安定的な確保・維持を目指す。

②実施主体：勝浦市、バス事業者、地域

③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
デマンドタクシーの 運行サービス見直し	検討、協議・調整	→			
	実施		→	→	→
	フィーダー補助の活用	→	→	→	→

■現行のデマンドタクシー事業及び実施主体の概要

路線名	デマンドタクシー
地区	上野地区全域、大沢、浜行川、興津の一部、小松野、大楠、松部・串浜の一分
事業許可区分	一般乗合（区域運行）
運行態様	予約制・乗合
実施主体	勝浦市（交通事業者へ委託）
補助事業の活用	地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）

【事業２】タクシー事業の維持・充実

①事業概要

タクシーは自宅から目的地までドア・ツー・ドアで移動できるため、個別的できめ細かな対応が可能であり、鉄道駅やバス停留所まで歩くことが困難な高齢者などにとって重要な交通機関である。

一方で、「運賃」や「料金・サービスなどの運行情報案内」に対する改善の声があり、デマンドタクシーや既存公共交通機関との役割分担を踏まえた上で、高齢者の外出支援のための「高齢者タクシー利用料助成事業」の継続及び必要に応じた見直しを行うとともに、タクシー事業の維持・充実に向け、タクシーサービスの周知や情報提供を強化する。

②実施主体：タクシー事業者、勝浦市

目標④ 観光施策と連携した移動支援及び利用促進

【事業 9】観光施設等との連携サービスの導入

①事業概要

まちの賑わいの創出を促すため、観光施設などと連携し、公共交通利用者に対する割引サービスや企画切符などを検討する。

旅行者アンケート調査において、必要なサービスとして「観光地のモデルコースの紹介などの情報案内の充実」が41.5%と1番多くなっている。公共交通に乗り慣れていない観光客に対して、公共交通を利用して安心かつ抵抗なく目的地に移動できるよう、公共交通を利用した「おでかけモデルプラン」を作成し、市ホームページへの掲載などにより需要の掘り起こしを図る。

また、旅行者アンケート調査において、必要なサービスとして「周遊バスなど観光地を巡るバスの導入」が37.0%と2番目に多くなっている。観光客が多く訪れているかつうら海中公園・海中展望台や海水浴場、勝浦朝市等の、勝浦市内の観光地を巡る周遊バスの運行や、夜間の飲食客の足の確保について検討する。

②実施主体：勝浦市、交通事業者、観光関連施設

③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和5	令和6	令和7	令和8
割引サービス・企画切符などの導入	企画内容検討				
	実施				
おでかけモデルプランの作成	プラン検討・作成				
	周知PR				
観光周遊バス等の運行の検討	検討・協議・調整・実施				

【事業 10】ICTを活用した効率性及び利便性の向上

①事業概要

地域公共交通を取り巻く社会情勢が大きく変革している中で、あらゆる人がシームレスに移動できることを目的に、MaaSによる「新たな移動」サービスの検討・導入が進められている。

勝浦市では、かつうら海中公園・海中展望台、かつうら海中公園滞在型観光施設「eden」、勝浦朝市、海水浴場などの観光資源が点在しており、既存公共交通機関に加え、観光協会で実施中のレンタサイクルなどの移動手段があるものの、十分機能している状況となっていない。

旅行者アンケート調査において、必要な情報やサービスとして「観光地等でのイベントや施設情報などの統一的な情報の提供」や「観光施設等と公共交通、レンタサイクル等との連携サービス（運賃等）の導入」に対する意見もあるため、MaaSなどICTを活用した新たな移動サービスについて検討する。

また、路線バスやデマンドタクシーなどにおいては、位置情報を伴う運行情報の提供や、AIを用いた配車サービス、運賃支払いにおけるキャッシュレス化などの導入について検討する。

②実施主体：勝浦市、交通事業者、観光関連施設

③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和5	令和6	令和7	令和8
I C Tを活用した効率性及び利便性の向上	検討・協議・調整・実施				

【事業 11】 分かりやすい運行情報の提供

①事業概要

鉄道や路線バス、デマンドタクシーなどの運行情報案内は、交通事業者や行政の情報誌やホームページのほか、インターネット上の一般の経路検索サイトなどで、乗換案内・時刻表・運行情報などの情報が提供されている一方、まだまだ周知が不十分な状況である。

このため、市民や観光客へ公共交通の運行内容を分かりやすく伝えて利用促進を図るため、各公共交通機関の運行経路やダイヤなどを一元的に掲載したホームページを作成するとともに、広報誌・観光ガイドブック等への掲載や、観光関連施設や商業施設等と連携を図りながら、幅広く周知を行う。

②実施主体：勝浦市、交通事業者、観光関連施設、商業施設

③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和5	令和6	令和7	令和8
市ホームページにおける交通情報のブラッシュアップ	検討・作成				

目標⑤ 地域全体で支える公共交通の構築

【事業 12】 意識啓発を促す利用促進活動の展開

①事業概要

将来的な利用者となる小・中学生を対象に、鉄道や路線バスの車両を使用した乗車マナーやルール、車内における事故防止などを学習する乗り方教室を開催するとともに、二酸化炭素排出量の削減などにも配慮し、過度な自家用車利用から公共交通利用への転換を促す、モビリティマネジメント活動を地域全体に展開する。

②実施主体：交通事業者、勝浦市、地域

③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和5	令和6	令和7	令和8
路線バスの乗り方教室の開催	検討・準備				
	実施				
モビリティマネジメント活動の展開	検討・協議・実施				

(5) 計画目標の達成状況を評価するための評価指標

計画の達成状況を評価するため、各目標に対し、以下のように評価指標を設定する。

基本方針	目標	評価指標	現状値	目標値	備考
1 広域アクセスや公共交通機関同士の相互連携による利便性の高い公共交通網の構築を目指す	①市内の移動支援の充実	デマンドタクシー1日平均利用者数	12.4人	15.0人	※1
		デマンドタクシーの利用者満足度	53.3%	60.0%	※2
	②移動ニーズに即した広域アクセスの強化	勝浦駅1日平均利用者数	661人	1,000人	※3
		市内停留所における高速バスの年間利用者数	14,633人	26,000人	※4
	③利便性の高い公共交通環境整備	交通結節点整備箇所数	—	2箇所	※5
2 観光需要を考慮した誰もが利用しやすい環境整備による公共交通の利用促進を目指す	④観光施策と連携した移動支援及び利用促進	観光施設等との連携による利用促進活動の導入件数	—	1件以上	※6
3 多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す	⑤地域全体で支える公共交通の構築	乗り方教室開催回数	—	延12回	※7
		デマンドタクシー運行収支率	8.8%	10.5%	※8
		公共交通への公的資金投入額	2,090万円	2,090万円	※9

- ※1 勝浦市総合計画「基本計画」（令和4年度中策定予定）の目標値
- ※2 令和3年度デマンドタクシー利用者アンケート調査の総合的な満足度で「満足」＋「やや満足」
- ※3 勝浦市総合計画「基本計画」（令和4年度中策定予定）の目標値
- ※4 勝浦市総合計画「基本計画」（令和4年度中策定予定）の目標値
- ※5 勝浦駅及び上総興津駅
- ※6 観光施設や商業施設との連携サービスを1件以上実施
- ※7 乗り方教室を市内小中学校（6校）を対象に各校2回実施
- ※8 令和2年度運行実績
- ※9 現況公的資金投入額：バス路線運行維持補助金1,385万円＋デマンドタクシー705万円＝2,090万円